

【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和6年度第2回総会 議事要旨

開催日時：令和7年3月28日（金）10：30～11：30

開催場所：香川大学幸町北キャンパス オリーブスクエア多目的ホール

出席構成員：香川大学 上田 夏生、四国学院大学 末吉 高明、香川県商工会議所連合会

綾田 裕次郎、高松市 加藤 昭彦（代理）、香川県立保健医療大学 平川 栄一郎、徳島文理大学 梶山 博司（代理）、高松大学・高松短期大学 佃 昌道、香川短期大学 加野 芳正、せとうち観光専門職短期大学 安村 克己、香川高等専門学校 向谷 光彦（代理）、香川県中小企業団体中央会 古川 康造、香川経済同友会 國村 一郎（代理）、香川県中小企業家同友会 小西 啓介（代理）、香川県農業協同組合中央会 港 義弘、香川県漁業協同組合連合会 嶋野 勝路、香川県 池田 豊人、丸亀市 松永 恭二、坂出市 大林 紀彦（代理）、善通寺市 松川 直人（代理）、観音寺市 黒川 順司（代理）、さぬき市 向井 健二（代理）、東かがわ市 寺西 康博（代理）、三豊市 山下 昭史、小豆島町 大江 正彦、三木町 多田 二三恵（代理）、直島町 田中 正平（代理）、宇多津町 谷川 俊博、綾川町 前田 武俊、まんのう町 河野 正法（代理）

（30/35 構成員出席）

議 題

1. 令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について（資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5）

令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について、資料1-1～1-5に基づき、事務局、各部会長及び香川県から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

- ・ 県内大学や県内企業のPRについて、出前講座のように団体に出向いて実施する取り組みが多いが、県内大学や県内企業に来ていただいた方が魅力の理解が早いと思うので、学生を呼び込む取り組みも考えていただきたい。
- ・ オープンキャンパスは受験生獲得に重要な取り組みと考えており、各学校がバラバラに取り組むのではなく、ある程度一元化して周知を行っていく必要がある。県内学校のオープンキャンパスについては年間の予定表を一覧にして大学・地域共創プラットフォーム香川のHP上で掲載を行っており、今後も各学校と連携しながら周知を行っていききたい。
- ・ 実施事業の発信について事務局HPでの発信だけでなく、大学・地域共創プラットフォーム香川の構成団体からも情報提供できるよう情報共有することが効果的である。
- ・ 大学・地域共創プラットフォーム香川の活動を県民に広く周知するには、大学・地域共創プラットフォーム香川のHPだけでは難しいので、市町のHPや広報誌等で活動について紹介していただきたい。

報 告

1. 令和6年度事業の実施状況について（資料2-1、2-2）

令和5年度事業の実施状況について、資料2-1、2-2に基づき、事務局及び各部長から報告があった。

○県内企業の多様な人材の確保についての提言（資料2-3、2-4、2-5）

県内企業の多様な人材の確保についての提言について、資料2-3～2-5に基づき、事務局から報告があった。

（意見等）

- ・ 富山 “Re-Design”ラボの取組みをモデルに香川県で実施していくに当たっては、研究員への報酬や居住場所について検討していただきたい。また、事業に参加する企業を確保するために、企業が負担する費用を補助する取組みについて検討する必要がある。
- ・ 富山県では、研究員の居住場所として県営住宅の提供や、事業に参加する企業が負担する費用の一部補助を行っており、香川県で実施する際には同様の補助を県にお願いしたい。

2. 令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について（資料3-1、3-2）

令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について、資料3-1及び資料3-2に基づき、事務局から報告があった。

3. 令和6年度名義使用の許諾について（資料4）

令和6年度名義使用の許諾について、資料4に基づき、事務局から報告があった。